

# KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

<https://www.j-kana.or.jp/>  
email: [info@j-kana.or.jp](mailto:info@j-kana.or.jp)



# 7

July, 2024  
vol. 451



## Contents

特集 『わが恩師を語る・・・湯澤正信』	01
建築探訪(アーケードにも魅せられて)	03
特集 神奈川の残しておきたい建築	05
委員会活動報告	
(今望まれているマンション維持管理について)	07
(青年部会運営委員会の主催『ワンコインナイト』実施報告)	08
賛助会だより	09
支部のページ(県西支部・厚木支部・茅ヶ崎寒川支部)	11
編集者のつづやき(神奈川県立花と緑のふれあいセンター)	14

瓦版は2021年12月よりWeb配信となりました。

## ある晴れた晩夏の日

(株) マツイアーキテクトコンサルタント 松井 正

「長い間、『舞台』をつくってみたいと思いついて、建築を考える時、私はそこにだれかを登場させて考える事になっている。」

恩師湯澤正信先生のポエムで今でも私自身大切にしていることばである。

勤務していた坂倉準三建築研究所OBの所長達からは未だに坂倉だけでなくその奥に見え隠れするル・コルビュジェを感じて刺激を受け続けている等、多くの恩師が存在するが、業としての設計を目指し始めた際に最も影響を受けた湯澤先生との特に私に関東学院大学院生時代の話を中心に展開させていただく。

大学院の先生のスタジオは大変厳しかった。鼻っ柱が強い同級生ばかりだったが求められているレベルが非常に高く毎回のエスキースチェック時には激しく叱責を受ける。清華大学出身の優秀な女性留学生にも容赦しない。悔しくて次はと入念に準備し理論武装して臨むがまた同じ結果。しかし先生と対話を重ねさせていく度に完成度が格段に上がっていく事を実感し、設計に対して真摯に向き合い常に考え続ける事の大切さを身を持って教わった。もっと多くを学びたいと思いM2の時には先生が担当されていた学部生の設計の授業の助手を積極的に担当させていただいた。先生は一貫して形よりもまずは生活像を優先する姿勢で指導されていた。

スタジオや講義よりも学生の私を魅了していたのは、当時リアルタイムで発表されていた先生の建築作品と文献であった。M2の夏には実施コンペを提出したその場で、建設中の大島市庁舎の現場を訪れ常駐の所員の方から案内していただき、素形での特異な構造計画のダイナミックさと緻密さを肌で感じたり、泉崎資料館では知的で美しい空間構成以上に村民の心の拠り所となる様に計画されたプログラムが大変魅力的に感じた事と併せて、オープン式典で先に到着していた先生が、後から到着した我々に気付いた際の今までに見た事も無い満面の笑みで迎えていただいた事を未だに忘れないでいる等、当時の多くの掛け替えのない思い出が今も鮮明によみがえる。他にも実際に足を運んだ作品は多くあるが、最も感銘を受け一番好きな作品は浪合学校である。

小気味よい様々な屋根に分節されたその建築は、バックに聳え立つ山々や地形に呼応しながら小さな集落を思わせるスケール感が抜群で随所に家のような居心地の良さを感じた。奥へ奥へと誘う巧みなシーケンス、円形劇場、列柱、宙をかけるハシロウカ等、様々な建築ボキャブラリーを絶妙にまとめ上げているだけでなく、難工事にも関わらずローコスト建築である事も特質すべき事項である。この作品は日本建築学会賞を受賞し、一級建築士の学科試験にも出題された。当時はまだ今のような作品を評価する賞も少なかった事から大学の教員で学会賞を受賞された先生が教鞭を取られている学校は少なく、他大学の友人からも羨ましく思われ、私自身も誇りに感じていた。湯澤先生の師である東大名誉教授の香山先生よりも先に学会賞を早く受賞した事からも大変な早熟であったと思われる。この頃の先生の作品には住宅を含めた様々な建築に冒頭の多様なシーンを誘発するようなメタファーとしての『舞台』がつくられていて、それがより質の高い文学作品に例えられる様な建築に昇華されていたと思う。また学会賞の部会長を務められていた際に選出された3つの建築は歴代の学会賞の中でも最高峰にある作品を選ばれていた処も先生ならでの選定眼と感じていた。

先生が他界されてからももうすぐ10年が経とうとしているが今も尚、先生の商品からは刺激を受け続けている。

浪合学校の見学を終え校内の円形劇場に腰掛け一息つくると心地よい秋風が吹き抜けていった際に、心から建築設計という職業の素晴らしさの余韻に浸っていた、あの夏の日の思い出が建築設計を志したターニングポイントになった事を今回の寄稿で改めて再確認し、より精進していきたいと思っている次第である。

## 湯澤正信プロフィール

1949年 神奈川県生まれ

1975年 東京大学大学院建築学専攻修士課程修了

1975年-79年 磯崎新アトリエ

1979年- 湯澤建築設計研究所設立

1993年- 関東学院大学工学部 教授

2013年 関東学院大学建築・環境学部 学部長



浪合学校

2



泉崎資料館



本牧の複合集合住宅



障害者支援施設 みだい寮



Si邸

## 路地に魅せられて 番外編 アーケードにも魅せられて

広報誌の誌面をお借りして、2度に渡り「路地に魅せられて」を書いてきましたが、路地愛が高まる一方、アーケードにも目移りするに至ってきました。路地を建物の間に存在する狭い空間「陰」とするならば、アーケードは、商店街のファサードを屋根でつなぐ「陽」の空間と言えるでしょう。日本におけるアーケード商店街の歴史は古く昭和の初期から見られますが、多くは戦後昭和30年代より全国で作られ始めました。基本的には商店街のメイン通路に屋根が掛けられ、全天候型の商空間となり、天候によらず集客を呼び込めること、直射日光から陳列商品を守る等色々な利点がありますが、色々な大きさ、地方色あふれるデザイン、また商店街の栄枯盛衰をあらわす空間ともなり興味深く、ますますアーケード愛も高まる一方です。

### 【熊本市 下通り】

第44回全国大会開催地 熊本市街中心部にも、下通り商店街に大きなアーケードが存在します。



下通り商店街

下通りを挟んで新市街商店街と上通り商店街があり全長2km近い長さで夕方、休日は大変なにぎわいです。非常に開放的な空間です。

スタジオアートクリエイト一級建築士事務所  
杉本 勝郎

### 【小倉 魚町銀天街アーケード】

北九州小倉駅前から延びる 魚町銀天街は縦横軸が交差する碁盤の目のようなアーケードで、幹線道路をまたぐ際も上部に屋根が有る大規模なアーケード街です。大型店～小規模店舗まで多様な建物をつないでおり、ここも賑わっています。



魚町銀天街

### 【倉敷 えびす通りアーケード】

倉敷駅から、美観地区に抜ける商店街にもアーケードがかかります。小ぶりの町屋風商店が目につく商店街で倉敷の雰囲気を感じます。



えびす通り商店街

天井高は余り高くなく、落ち着いた雰囲気を持っていました。

### 【南千住 ジョイフル三ノ輪アーケード】

東京荒川区、下町の匂いがプンプンする商店街で、都電荒川線の終着駅のとなりに位置しています。まちの八百屋、さかなや、居酒屋が多く、生活感が漂う町並みで出来立て総菜に思わず足が止まります。



ジョイフル三ノ輪商店街

## 【吉祥寺 サンロード アーケード】

住みたい街 上位につけている吉祥寺。

終戦直後の市場からスタートした商店街は今も賑わいは続いています。ここも大型店と直結したり、路地も幾重にも重なり迷宮と化しています。



サンロードHPより

サンロード商店街

明るい太陽光を穏やかに取り入れるため膜屋根としたり、構造にも工夫が施されています。

## 【豊橋 ときわアーケード通り】

豊橋駅近くの商店街中心に位置しており小規模ですが、飲食店も充実しています

今人気の豊橋カレーうどんのお店も軒を並べ昼時は混雑しています。



ときわアーケード通り

## 【相模原 西門アーケード】

アーケードは、商店街の結束と、より多くの集客を呼ぶために作られたものですが、全国的に新しく作られることはほとんど無く、過疎化や、商業形態の変化により撤去されることが多くなっています。賑わっているところと、そうで無いところがハッキリしてしまうのももの悲しく思えます。ここ西門商店街のアーケードも、立派な門構えにもかかわらず、かつての賑わいが無く、シャッター通りと化しつつありますが、さくら通りにも接し駅近くのマンションも多いことから、なんとか盛り上げていければと思います。



西門商店街



## 特集 神奈川の残しておきたい建築

### 戦没船員慰霊碑

横須賀支部 合同会社 戸井田設計 戸井田 顕

横須賀市の観音崎公園にある戦没船員の碑は、第二次世界大戦や海難事故の犠牲となった6万人余りの船員たちのために、1971年に吉村順三の設計で完成しました。この碑は、作品集でも遠景から撮られた写真と短い説明文が1ページに掲載されているだけで、あまり知られていませんが、同時期に作られた脇田和アトリエ山荘（1971年）や猪熊邸（1970年）と同じくらい素晴らしい建築だと思います。

高さ24メートルの白磁の大碑壁の造形的な美しさもさることながら、入口から海に向かう動線の素晴らしさが最も印象的で、入口から自然に奥へと導かれ、はるか遠くの水平線へと意識が向かうように緻密に設計されている気がしました。

この記事を書くにあたり久しぶりに訪れましたが、まだ薄暗い早朝にちょうど海に向かって静かに祈るご老人がいて、その後ろ姿が何かとても尊いものを感じられました。

5



【所在地】 横須賀市鴨居4-1262  
（観音崎公園内）  
【設計者】 吉村順三  
【竣工】 1971年

## ニュー山手マンション（横浜市中区）

横浜支部 アメジスト建築設計 一級建築士事務所 小河 泰隆

横浜市中区の山手本通りの地蔵坂上交差点の角に見えるマンションで、1970年（昭和45年）11月の竣工なので、築53年半という歴史です。山手本通りのランドマーク的なマンションです。

様々に調べましたが、設計者は不明、施工者はすでに倒産してしまったゼネコンで、特記する項目はありません。

この年代のマンションは今でも数多く残っていますが何故このマンションを残したい建築として取り上げたかという、今現在特に大量に供給されている新築マンションとの比較をしたかったからです。

ニュー山手マンション、外観はこの年代に主流の仕上げであるモルタルに白地の吹付で、朱色のアクセントとベース部分に赤系のタイル、地蔵坂上交差点のランドマーク的な外観で周囲の景観と非常に馴染んでいます。山手の住宅街は築60年を超えている住宅も目につきますが、良い意味で昭和の品のある住宅街の中でその中心にあるマンションという感じです。エントランスのロゴ、窓やバルコニー格子のデザインなど、50年以上前に主流であったデザインを読み取れますが、半世紀が経過したモルタル仕上げや鋳物の素材感などは今見てもとても深い味があり、エイジング加工では出せない外観でありデザインであると言えます。

日本のマンションは1980年代後半のバブル期までは「ライオンズマンション」に代表されるように躯体や内外にコストを掛けてしっかりと造っていることで多くは現在に味が出てきていますが、バブル崩壊後の建築はコストダウンと効率重視になり味を感じる建築が無いように見えます。外観は化粧ALC板やアクリル化粧パネルなど施工が容易な外壁を用いて特にバルコニー側は見栄えを盛っていますが、工業的な素材では年数を経過しても深みのある味は出ないと思います。特に最近では工業的で平べったくコストダウンを感じる薄い内外装で無秩序に建てられており、年月が経つほど味が出る「ビンテージ」的マンションは今後減少するでしょう。



ニュー山手マンション  
神奈川県横浜市中区山手町218  
JR根岸線石川町駅から徒歩8分、桜木町駅から  
神奈中バス11系統にて「地蔵坂上」目の前



## 委員会活動報告

### 青年部会運営委員会の主催『ワンコインナイト』実施報告

青年部会運営委員会 委員 渡邊 靖

2024年2月9日（金）、青年部会運営委員会の主催により、藤沢市の蔵まえギャラリーで『ワンコインナイト』を実施しました。

『ワンコインナイト』とは、参加費が500円のイベントだから命名されたもので、気軽に、安い参加費だから参加して下さいね！という意味が込められています。

会場の蔵まえギャラリーは、昭和初期に建てられた米穀店跡の古民家を、普段は画廊として使用している傍ら、申し込みがあれば貸しスペースとしてもレンタルしています。今回のワンコインナイトでは、蔵まえギャラリーのスペースをレンタルし、土間スペースで建築基準法の勉強会、奥の部屋で飲食・飲酒、駄菓子掴み取りを行いました。普通の会議室ではない、懐かしい気持ちになる古民家の、夕刻でのイベントでお酒も入るとなれば、面識がなくても普通に会話が出来たのが新鮮でした。場所と空間がそういう雰囲気を醸成するのだなと感じた次第です。



当日は、神事協正会員、賛助会員の他、公益社団法人 千葉県建築士事務所協会会長 井桁正昭様が、遙々千葉県から車で藤沢までお越し頂きました。これは、1月25日（木）に開催された、神事協の賀詞交歓会で、有泉委員長が井桁会長と歓談し、ワンコインナイトのご案内をした経緯があります。来賓という形ではなく、個人的に他会の会長様の招聘を実現した事に関し、有泉委員長の胆力というか、営業力には目を見張るものがあります。

『ワンコインナイト』の実施に際し、青年部会運営委員会のメンバーは事前準備に相当な労力を掛けました。その甲斐もあって、盛会になったのだと思います。



また個人的な意見としては、参加者は青年（50歳以下）の方でなく、壮年の方も参加してもいいのではないかと思います。当日の参加者には、26歳で今年一級建築士と取ったばかりで将来独立を目指しているという方もおり、『ワンコインナイト』は、そのような方とベテラン建築士が交流を持つ良い機会ではないかと感じました。

## 賛助会だより

# 水平構面としても高耐力！たる木どめ金物「BX高耐力たる木ビス」

BXカネシン株式会社 渡邊 孝治

BXカネシン株式会社の渡邊申します。日頃より賛助会員として展示会等でお世話になっており、心より感謝申し上げます。

弊社は主に木造建築用接合金物の開発・販売を行うメーカーです。制震装置や換気金物、建築資材など木造建築に関わる製品を広く取り扱っていますが、現在はメイン商材である接合金物の需要が住宅から中大規模建築に広がっていることを受け、中大規模木造建築に対応する製品の開発にも積極的に取り組んでいます。そこで、今回は住宅・中大規模木造建築のどちらでもご使用いただける「BX高耐力たる木ビス」をご紹介します。

「BX高耐力たる木ビス」は、たる木と母屋・軒桁・棟木を強固に接合する高耐力のたる木どめ金物です。屋根構面对応、野地上打ち込み対応など、発売当初よりお客様の多様なニーズにお応えするべく仕様拡張を進め、現在は弊社製品の中でも特にお問い合わせが多い製品となっています。



型番	対応たる木高さ	L
KTB-130	~60	130
KTB-150	~90	150
KTB-180	~120	180
KTB-200	~140 <sup>※</sup>	200

※屋根倍率を利用する場合、たる木高さが120mmを超えると対応できません。  
 ※たる木勾配や軒の出によっては対応できない場合がありますのでご注意ください。  
 ※勾配によるビス長さ選定はホームページの「サイズ選定表」をご確認ください。

### ポイント① 3.4kNと高耐力

Zマークひねり金物（ST-12）の2倍以上の3.4kNの耐力を有します。

ひねり金物（ST-12）：1.3kN（スギ類の短期許容耐力）

BX高耐力たる木ビス：3.4kN（短期基準接合引張耐力）

### ポイント② 屋根構面としても高耐力

屋根構面としても高耐力を確保し、小屋組みの水平方向の変形を抑制できます。



#### 耐力一覧

たる木ピッチ	たる木高さ90mm以下の場合		たる木高さ90mmを超え120mm以下の場合	
	床（屋根）倍率	単位長さあたりの短期許容せん断耐力 <sup>※</sup>	床（屋根）倍率	単位長さあたりの短期許容せん断耐力 <sup>※</sup>
455mm以下	1.4倍	2.93 kN/m	1.4倍	2.78 kN/m
303mm以下	1.9倍	3.86 kN/m	1.8倍	3.66 kN/m
227.5mm以下	2.2倍	4.44 kN/m	2.1倍	4.21 kN/m

※上記は勾配なしの数値です。勾配ありの数値は、ホームページの「BX高耐力たる木ビス 屋根構面仕様資料」をご確認ください。

### ポイント③ 住宅だけでなく、中大規模木造建築にも最適

通常、45幅の垂木に構造用合板12mmを釘打ちした屋根倍率は転び止めを設けても30度以下の勾配で1.0倍、45度以下で0.7倍と非常に小さいです。一方で、BX高耐力たる木ビスでは構造用合板12mmで屋根倍率1.4~2.2倍であり、勾配がつくと耐力が低減されますが30度程度（6寸勾配）でも屋根倍率1.2倍程度、45度（10寸勾配）では1.0倍程度は最低でも確保できます。垂木ピッチを細かくすることで、耐力を上げることができるので住宅に限らず中大規模で耐力壁線間距離が長くなるような、広い空間の屋根を計画する際にも役に立ちます。

### ポイント④ たる木打ち込み、野地上打ち込みに対応

たる木打ち込みだけでなく、野地上からの打ち込みにも対応しており、野地板※施工が一般的なパネル工法でも使用可能です。また、どちらの施工方法においても、短期基準接合引張耐力・床（屋根）倍率の数値を確認しております。※構造用合板やOSB

### ポイント⑤ 環境配慮の表面処理「プロイズS」を採用

「プロイズS」は、有害物質である六価クロムを使わず、高い防錆・防汚性能を発揮します。

製品に関する不明点などありましたら渡邊までお問合せいただければ幸いです。今後とも何卒よろしくご依頼申し上げます。

BXカネシン株式会社  
 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸4-19-12  
 TEL 03-3696-6781

## 賛助会だより

### 『しっかり、まじめに、誠実に。』安心・安全なマンション大規模修繕工事へ

株式会社ヨコソー 専務取締役 齋藤 秀人

株式会社ヨコソーの齋藤でございます。

日頃より賛助会員として協会の皆様には大変お世話になっており、改めて感謝申し上げます。

今年で創業116年を迎える弊社は、マンション大規模修繕工事やその他リフォームを通じて、安心・安全・快適な住環境および建物が健全かつ良好な状態を保てるよう、一都三県のお客様を中心にお手伝いをさせていただいております。

昨今は少子高齢化やSDGsへの関心の高まりもあり、「住宅ストックを活用する」「既存の建物をきちんと維持して長く活用しよう」といった考え方も社会的に広まってきていると感じます。また、建物の長期修繕計画をはじめ、維持改修についてとても熱心に取り組まれているお客様も増えてきております。

だからこそ、引き続き『しっかり、まじめに、誠実に。』弊社らしく取り組んでいくことでお客様のお役に立ちたいと考えております。

#### ●お客様の安心や満足の追求

お客様と真摯に向き合い、妥協することなく、その安心や満足を追い求めたい。明治41年の創業以来、脈々と受け継がれているのが、この「ヨコソーイズム」です。お客様の役に立つにはどうしたらいいのか。その使命を胸に、今日も弊社は挑戦と成長を続けてまいります。



#### ●「人」の力を最大限に活かす

お客様がお住まいになっている中で行われる大規模修繕工事だからこそ、弊社は人の力を最大限に活かした現場力の強化に努めています。すべてはお客様の想いに細やかに応える、そしてご満足いただくことを目指しているからこそです。

引き続き、お客様そして協会の皆様よりご愛顧いただけるよう頑張っておりますので宜しくお願い申し上げます。



株式会社ヨコソー

〒238-0023 神奈川県横須賀市森崎1-17-18

TEL 046-834-5191 FAX 046-834-5166

## 開成町新庁舎見学会

合同会社 team AeO 一級建築士事務所 徳家 明美



北側全景 開成町役場提供

県西支部の研修旅行（見学会）について紹介します。当支部の見学会は、発注者や設計者より解説いただく時間を十分に設けるなど、充実した内容で毎回好評を得ています。

昨年度は、第64回神奈川建築コンクール 一般部門 最優秀賞受賞の開成町新庁舎を見学しました。完成当時、庁舎として初のZEB(nearly ZEB)認証を取得したことで注目された建築です。

計画当初の2014年、まだZEBの定義づけがされていない時に「100年建築」を掲げて持続可能なゼロエミッション庁舎を目指したそうです。環境性能を満たすため



2階より2層吹抜けの町民プラザをみる

の数々の機構、装置（設備）と意匠、構造の要素をいかに統合させてひとつの建築へと形作るのか、意匠設計担当者の説明からもそのテーマの難しさと深さを感じられました。ZEBの様々なテクニカルな取組については、開成町のHPでも紹介されていますので、ここでは他の面で印象に残ったことを記します。

## ・モールテックスの窓口カウンター

お役所らしい施設にはしたくなかった(町担当者)という現れのひとつでしょうか、メインエントランス正面で存在感のあるカウンターが出迎えてくれます。



モールテックスのカウンター（総合窓口）

## ・職員の働きやすさへの配慮

町民対応カウンターと自席のみで休憩することもままならない、休み時間も席が丸見えという旧庁舎の反省から設けられたという職員のためのバッファゾーン。庁舎建築では後回しにされがちだったスペースかもしれません。

## ・フラットフロアの議場

自然光を採り入れた議場は平土間となっており、威圧感がなく明るく開けた印象を受けました。機能面でのバリアフリーだけではなく、そこには開成町の姿勢が表れているのだそうです。



議場

外観はもちろん、ロビー等のパブリックゾーンの見学は可能です。皆様も実際に訪れてみてはいかがでしょうか。

今年度は、湯河原町出身の建築家、杉本洋文氏の湯河原町内の作品を中心に、自らご案内いただく見学会を秋に計画しており、支部会員以外にもご案内予定です。奮ってご応募ください。



見学会集合写真

## ～建設フェスタ協賛・出展～



メインゲート

令和6年5月26日(日)に、(一社)厚木市建設業協会の主催による第5回「建設フェスタ2024inあつき」が開催されました。例年は8月の最終日曜日に開催していたのですが、酷暑を避けてこの時



試乗体験



つみきゲーム



キッズ輪投げ①



キッズ輪投げ②

山王建設株式会社 一級建築士事務所 高橋 学期に変更されたみたいです。我々の厚木支部は例年通り協賛をして、「キッズ輪投げ」ブースを出展しました。参加してくれたキッズにはもちろん景品を差し上げて、同行の親御さんたちに、厚木市都市未来部建築指導課からの依頼を受け、「厚木市木造住宅耐震工事補助金」の案内を配りながら、それを通じて啓蒙活動を致しました。気候にも恵まれた一日でしたので、キッズの来場者数は去年の120名を大幅に上回り、400名強でした。親御さんたちは耐震工事補助金のことは全く知らない人の方が多く、残念ながら知っている方でも、補助金を申請して耐震工事をする方は皆無でした。今後、厚木支部としては、厚木市担当課との「グレーゾーン問題」に関しての意見交換会を実施すように進めて行きたいと思います。

## 支部活動のなかで

茅ヶ崎・寒川支部では行政からの依頼をうけ、建築無料相談、空き家対策協議会、たいあっぷ推進協議会、イベント等に参加しています。

コロナウイルスの感染も落ち着き、様々な活動が活発になってきました。

特に年始に起きた令和6年能登半島地震後は地震対策への意識の高まりとともに相談件数も増えてきました。

そのなかで、知識不足なのか手の込んだ悪意なのか少し考えてしまう事例がありました。相談内容は耐震補強工事を過去に行っているが大丈夫でしょうかというものでした。

相談者の方は内容は全く分からず、以前お住いの方が補強工事を行っており、A4数枚の報告書のみが見つかり、お持ちいただいていた。表紙には〇〇設計事務所とあり、図面、計算式、工事写真がはいっていました。図面に耐力壁の新設位置が記入されていましたが、評点の上昇に対して耐力壁の量が少ないというのが最初の印象でした。計算式も少なく、建物全体の評価をどのようにしているのかもわかりませんでした。最後に工事写真があり、構造用合板を張っているものや基礎を増し打ちしているものがありました。その中に明らかにおかしい筋違の工事写真がありました。内容が不明瞭な上に、この

茅ヶ崎・寒川支部 (株)大利建築 青木 崇浩



寒川町産業まつり

ような工事を行う補強工事には他にも問題があるのではと判断し耐震診断を改めて行う事をオススメしました。

又、明らかに悪意のある事例の相談もありました。基礎のコンクリート強度が不足しているため、このままでは基礎が壊れると不安を煽り、クーリングオフをすり抜けるように契約書が作成されていた悪質な事例もありました。この事例は相談者の方が消費生活センターに経緯を説明し契約解除ができたとの事でした。

このような事例は多々あるのではないかと思います。報告、共有したいと考え支部のページに書かせていただきました。

13



茅ヶ崎市そよら無料相談会



茅ヶ崎市庁舎無料相談会

新入会員のご紹介

横浜支部

CaSA associates 一級建築士事務所 井上 智香子  
〒225-0024横浜市青葉区市ヶ尾町1169-7  
野村ステイツ市ヶ尾216号  
TEL.080-5061-6244/FAXなし

川崎支部

富士通株式会社一級建築士事務所 安嶋 義真  
〒212-0014川崎市幸区大宮町1-5 JR川崎タワー  
TEL.050-3616-9029/FAXなし

退会者

横浜支部

一級建築士事務所 三徳建築設計 菊池 美徳  
株式会社ソナーズ二級建築士事務所 遠藤 悟  
株式会社マイホーム・スタジオ 永野 正之  
株式会社三光ビルサービス社一級建築士事務所 大矢 修

横須賀支部

有限会社桜井建築設計事務所 櫻井 忠

湘南三浦支部

有限会社内騰・建築設計事務所 内騰 隆之

藤沢支部

有限会社コボットハウス 小堀 哲郎

変更

横浜支部

株式会社伊藤一級建築士事務所  
(指定代表者変更) 楠 英二郎

よこはま建築監理株式会社一級建築士事務所  
(所在地・TEL・FAX変更)  
〒231-0868横浜市中区石川町1-1 カーサ元町401  
TEL.045-651-0021 FAX.045-306-9564

株式会社ナトリ建築設計事務所  
(指定代表者変更) 名取 雄一郎

デックス株式会社  
(指定代表者変更) 相原 則秋

川崎支部

一級建築士事務所アトリエアップルズ株式会社  
(TEL・FAX変更) TEL.045-342-4676 FAX.045-342-4676

富士古河E&CS株式会社一級建築士事務所  
(指定代表者変更) 米持 寿人

横須賀支部

木村建設株式会社 建築設計事務所  
(指定代表者変更) 木村 和貴

平塚支部

湘栄建設一級建築士事務所  
(事務所名変更) 旧) 湘栄建設二級建築士事務所

レモンホーム株式会社建築士事務所  
(事務所名・指定代表者変更)  
池谷 章太郎  
旧) レモンホーム株式会社一級建築士事務所

座間支部

一級建築士事務所 株式会社NEOデザイン  
(所属支部変更) 旧) 相模原支部

賛助会入会者

株式会社メディアプライムスタイル

賛助会変更

ベクターワークスジャパン株式会社  
(社名変更) 旧) エーアンドエー株式会社

三菱地所ウッドビルド株式会社  
(社名変更) 旧) 株式会社三菱地所住宅加工センター

会 勢

支部名	令和6年6月1日現在				
	令和6年4月1日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	253	235	3	3	1
川 崎	109	110	1	0	1
横 須 賀	48	47	0	1	-1
湘 南 三 浦	17	17	0	0	0
藤 沢	38	37	0	1	-1
鎌 倉	42	40	0	2	-2
茅ヶ崎葉川	14	14	0	0	0
平 塚	23	23	0	0	0
秦 野	11	11	0	0	0
伊 勢 原	8	8	0	0	0
大和綾瀬	18	18	0	0	0
厚 木	30	30	0	0	0
座 間	11	12	1	0	1
海 老 名	15	15	0	0	0
愛 川	6	6	0	0	0
相 模 原	63	63	0	0	0
県 西	37	37	0	0	0
合 計	743	741	6	8	-1
賛助会員	93	97	4	0	4

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。  
※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき



ゴールデンウィークに平塚駅からバスで20分のところにある「神奈川県立花と緑のふれあいセンター」に行ってきました。四季に咲き誇る花々や野菜の観賞、収穫や料理も楽しむことができる複合施設です。1,300品種に及ぶバラをはじめ、トマトやトウモロコシなどの野菜が育つ様子を見ることが出来ます。

連休中ではありましたが混雑することもなく、併設されているレストランも並ばずに利用することができました。バラが見頃な時期で沢山の種類を、ゆっくり歩きながらじっくり鑑賞できました。

7月の見頃なお花はゆり、紫陽花、ハス、ムクゲ、温帯スイレンとの事です。

住所：神奈川県平塚市寺田縄496-1

面積：約92,000㎡ (横浜スタジアムの約3.5倍)

1周：30分～2時間

交通：平塚駅からバス、駐車場あり

(川崎支部 (株) 創信建築事務所 森本 和樹)

KANAGAWA 令和6年7月号 (通号451号)

発行 令和6年7月1日 (奇数月1日発行)

発行人 平山 正義

発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201 2F

TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807

印刷所 株式会社 柏苑社

- ・ 担 当 副 会 長 小松 正道
- ・ 担 当 理 事 田中 正幸
- ・ 会誌編集特別委員長 小泉 厚
- ・ 会誌編集特別副委員長 仙波 弦
- ・ 会誌編集特別委員 雨森 隆子 小河 泰隆 森本 和樹
- ・ 戸井田 顕 中原 尚代 杉本 勝郎
- ・ 長川 勉
- ・ 事 務 局 小林 恵美



---

今月の表紙

## 鎌倉市本庁舎

1969年築 鎌倉市役所本庁舎

RC造一部S造 地上4階・地下1階 久米建築事務所による設計  
市役所移転とともに現在地利活用基本構想が策定される中、  
この豊かな緑に囲まれた近代建築の行方について一人ひとりが向き合い、大仏さま（裏表紙）とともに鎌倉の顔としての存在を未来へ受け継いでいきたい

（表紙写真・文 中原 尚代）

---